■ 止水板導入までの流れ・・・

① お見積り依頼　お客様のご要望に沿ったご提案ができます。
② 現地での確認　現地にて計測と設置個所の写真を撮ります。
③ お見積り　提案内容を元に見積もりを致します。
④ 申請・製作　ご納得いただけたら、止水板の製作をします。
同時に補助金の申請も行います。

自社生産で安心です。 ココがPOINT 3

⑤ 工事・設置　通常１日で工事と設置をして、浸水対策の完了です。

1カ月間～

仕様

■ 主な性能

名　　称	つっぱりタイプ	マグネットタイプ	サイド支柱・三方枠タイプ
止水製品の種類と特徴	１分で設置可能	ワンタッチで設置可能	設置条件に制約がない
	工事不要	工事不要	簡易工事が必要
止水性能（★）	１０ℓ/(h・㎡) 以下 JIS 漏水量による等級 Ws-4 相当	4ℓ/(h・㎡) 以下 JIS 漏水量による等級 Ws-5 相当	１ℓ/(h・㎡) 以下 JIS 漏水量による等級 Ws-6 相当
設置可能幅	開口幅：６００～２３００mm		
止水板の高さ	３５０mm／５００mm		
パネル材質・重量	アルミニウム：6㎏（幅６００mm）～１８㎏（幅２３００mm）		

（★）止水性能は実験値であり、保証される性能ではありません。設置個所の状況、設置環境、設置方法によって漏水量は変わります。また、本製品は完全止水製品ではありません。

お問い合わせは、止水板担当者まで

0120-677-771　eco@ktx.co.jp

営業時間 AM 9:00～PM 6:00　定休日 土曜・日曜日

創業昭和 40 年、オンリーワンの優れた技術により 2019 年版「中小企業白書」に掲載されました。

KTX株式会社

本社：愛知県江南市安良町地蔵 51 番地

2021年6月

KTX Corporation Since 1965

地域未来牽引企業
2020 年度、地域未来牽引企業に選ばれました。

KTX の止水板

スーパー止水番 2

一般財団法人 建材試験センター
最高等級取得
水深 49㎝において 0.000036 ㎥/(h/㎡)

名古屋市工業技術グランプリ
奨励賞を受賞
2021年2月9日 表彰

止水板構造
特許出願中

安全・安心の日本製

① 止水性能の凄さ

② 設置時間の速さ

③ 止水板の強さ

止水板設置写真

NEWS
多数の発注を頂いています。
ご採用例：三井住友銀行様ほか

題字　豊口 広 先生

大型台風・ゲリラ豪雨の浸水対策に

高価な精密機械の保全のため、老舗金型メーカーが真剣に考えた「止水板」。

地球温暖化が世界的規模で進展し、降水量が拡大・増加する時代です。

記憶に新しい 2015 年の東日本豪雨、2020 年の西日本豪雨による大規模災害など、日本各地でゲリラ豪雨による激甚災害が多発しています。

中でも、線状降水帯による雨量は凄まじく、短時間で甚大な災害が起こっているほか、深刻化する都市型水害による内水氾濫（★）があります。

金融機関や公共施設など社会インフラの２次被害を減災させる手段として、ＫＴＸの止水板「スーパー止水番２」をご提案します。

（★）中小河川が逆流し、排水ができなくなり、住宅地や商業地でマンホールなどから水が大量に溢れ出る現象です。

HOT NEWS

奨励賞を受賞

工業技術グランプリで「奨励賞」を受賞しました。

2021年２月９日

NEWS

NHK「まるっと！」ニュース番組で放送されました。

2020 年 10 月 30 日

NEWS

中部経済新聞

新聞に記事が掲載されました。

8月 25日

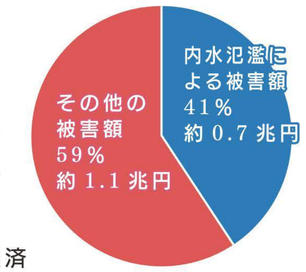
近年の日本全国における水害の被害

○ 過去 10 年間の日本全国における水害被害額は約 1.8 兆円で、そのうち約 4 割が内水氾濫（東京都では、約 7 割が内水氾濫）。

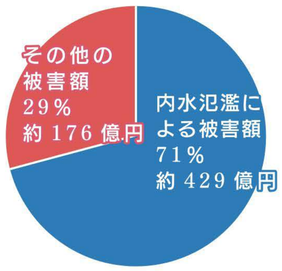
内水氾濫による被害額が 約７割

都市型水害は、社会インフラが集中している大都市圏に被害を及ぼし、経済にも損失が大きく、その対策が急務です。

【全国の被害額】

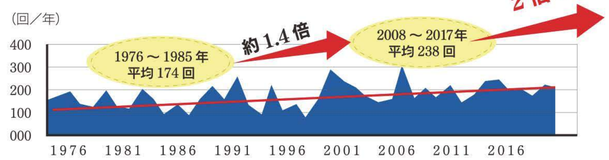


【東京都の被害額】



出典：水害統計（2008 ～ 2017 年の 10 年間の合計）から集計

顕在化している降水量の予測

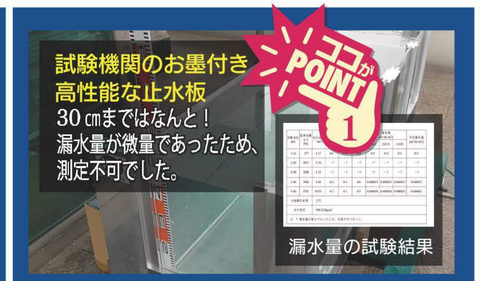
	既に発生していること	今後予想されること
降　水	◆ 短時間豪雨の発生件数が約 30 年前の約 1.4 倍に増加 ◆ 2012 年以降、全国の約 3 割の地点で、1 時間当たりの降水量が観測史上最大を更新	◆ 1 時間当たりの降水量 50mm以上の発生回数が 2倍以上に増加 気象庁の予想では発生が 500 回弱と 2 倍以上に増加  1 時間降水量 50mm以上の年間発生回数（アメダス 1,000 地点あたり）

出典：気象庁 地球温暖化予測情報 第 9 巻、2017

「土のう」のデメリットを解消します。
止水・速攻・強靭の各性能を備えた浸水対策の決定版！

「スーパー止水番２」と「土のう」の比較

一 止水性能の凄さ



漏水量：0.036ℓ／（h・㎡）

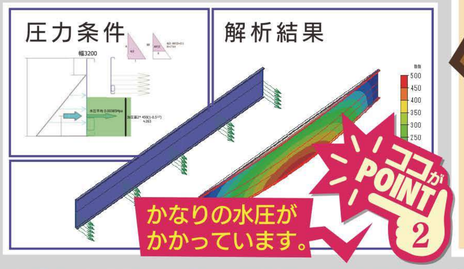
漏水量：240ℓ／（h・㎡）以下

漏水量＝浸水した体積 /（1時間・水位〈浸水した深さ〉× 止水板の横幅）

二 設置時間の速さ

三 止水板の強さ

高度な解析方法で設計しました。



「土のう」は、そもそも陣地を作って弾除けに使うためのもので、水害対策には最適ではありません。

土のうの製作は２人１組で協力して袋に土を入れていきます。スコップ５杯ほどで土のう袋の５割程度約１８ｋｇになります。素人が積むと崩れる恐れがあります。

従来の止水板と比較して新設、既設を問わず工事コストを抑えることができ、設計用の高性能なコンピューターで水圧を解析し、軽さと丈夫さを兼ね備えた設計をしています。